社会貢献・地域貢献

社会・地域にイイこと、プラス。

ユニーは地域の皆様や企業、自治体、NPOと一緒に社会貢献・地域貢献活動を推進しています。ユニーは持続可能な社会構築のため、地域環境を守るだけでなく、地域社会の頼りになる「コミュニティセンター」として今後も社会貢献・地域貢献活動に取り組んでいきます。

SDGsとユニーのかかわり方

3 すべての人に健康と福祉を　4 質の高い教育をみんなに　11 住み続けられるまちづくりを　17 パートナーシップで目標を達成しよう

高齢者や認知症のお客様のために

◆認知症買い物セーフティーネット

ユニーでは認知症の方にも安心してお買い物を楽しんでいただけるようサポートしています。
従業員に認知症への理解と見守りの役割を担ってもらうための教育を行い、店内での困りごと対応やお手伝いで支援しています。
また一般のお客様にもご理解・協力をしていただくために店内で認知症支援のボランティアや市の職員、支援大学と一緒にお買い物サポートイベントを開催しています。

店舗での啓発イベント

店舗での認知症アンケート

◆認知症サポーター教育を実施

アピタ金沢文庫店では市民ボランティア団体「かなざわささえ隊」と釜利谷地域ケアプラザのスタッフが209名の従業員に認知症サポーター教育を実施しました。現在58店舗で認知症サポーター教育を実施し、サポーター数は約4,000人になりました。
今後は自治体とも連携し認知症の方を支援する体制を整えていきます。

認知症サポーター教育を実施

認知症サポーター教育を受けた従業員

◆認知症買い物セーフティーネット店舗

店長はじめ従業員が認知症サポーター教育を受け、地域と連携し認知症のお客様でも安心してお買い物ができる店舗を「認知症買い物セーフティーネット店舗」として認証しています。店舗では認知症サポーターバッジを付けた従業員がお客様の対応をします。

認知症サポーターバッジをつけた従業員

認知症買い物セーフティーネット店舗

店舗での教育担当者
- 店長（キャラバン・メイト）
- 自治体担当者（キャラバン・メイト）
- 協力NPO（HEART TO HEART）

教育 →

店　舗
- 店舗従業員
- グループ会社従業員

← 連携

自 治 体
- 市役所
- 包括支援センター
- 社会福祉協議会

◆認知症買い物セーフティーネット店舗（ユニー独自の規定基準）

- 店長が規定の教育を受けた認知症サポーターである。
- 店舗の従業員の中に認知症サポーターがおり、今後も積極的に認知症サポーターを増やすための教育を行っている。
- 店舗がバリアフリー法認定施設である。
- 地域のお客様に認知症ついて理解してもらうための啓発イベントに積極的に取り組んでいる。
- 自治体、地域包括支援センター、社会福祉協議会と連携し認知症のお客様への対応ができる。

Voice　認知症買い物サポートを支援

高齢化に伴い認知症の人も急増しており、10年後は65歳以上5人に1人が認知症になると推計されています。認知症になると同じものを何度も買うなど、“買い物でのトラブル”は病気の初期に出ます。認知症への理解を深めるために始めた「認知症買い物セーフティーネット」の取り組みも、早いもので丸7年を迎えました。これからも皆様と一緒にアピタ店舗内での啓発イベントなどを通して多くの皆さんに認知症を知っていただけたるよう取り組んでいきたいと思います。

NPO法人
HEART TO HEART
代表 尾之内 直美さん

お手伝いの必要なお客様のために

◆ユニバーサルデザイン調査について

ユニーではハートビルマークをつけたり、管理職がサービス介助士の資格を取っていますが、実際は車いすや目の不自由な方、高齢者やベビーカー使用者など、多様なお客様に十分な対応が出来ていない現状があります。2017年、ユニバーサルデザインのコンサルティング会社ミライロの協力により、車椅子の方や目の不自由な方に改善点を見つけていただく調査を行いました。今後も多様なお客様にお買い物を楽しんでいただけるよう活動していきます。

調査の様子

◆ネットスーパー

店舗に行かなくても買い物ができる「ネットスーパー」は、高齢者など買い物が困難なお客様や、時間がないお客様の強い味方です。ネットスーパーではお客様の使用済み容器包装を商品納品の時に回収するなど、リサイクルも推進してお客様に便利で環境にも配慮した取り組みを進めていきます。

ネットスーパーの紹介

ネットスーパー配送車